

平成29年度

施政方針

福岡県古賀市

目 次

1. はじめに	…	1
2. 平成29年度予算編成について	…	4
3. 平成29年度に行う主な事業について	…	7
(1) 活気とにぎわいあふれるまちづくり	…	7
(2) 自然を大切にし 環境にやさしいまちづくり	…	8
(3) こころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり	…	9
(4) 住みやすい生活環境の整ったまちづくり	…	10
(5) 安全で安心して暮らせるまちづくり	…	11
(6) すこやかで元気あふれるまちづくり	…	12
(7) 互いに認めあい みんなでつくるまちづくり	…	14
4. おわりに	…	15

1. はじめに

昨年の5月、アメリカのオバマ前大統領が、現職大統領として初めて被爆地である広島を訪問され、核兵器なき世界への決意を表明されました。12月には安倍首相がハワイの真珠湾を訪問され、戦没者らが眠る墓地などに献花され、黙祷を捧げられました。この2つの出来事は、日本のみならず、世界の平和に向けた大きな転機となったのではないかと思います。

日本国内において最も印象深い出来事は、4月に発生した熊本地震でした。九州においては、近年類をみない規模の地震により、多くの犠牲者と避難生活者を出し、いまなお復旧に向けた取組が続いています。自然災害の脅威を目の当たりにし、地域防災の重要性をあらためて認識するとともに、普段からの防災力の向上にさらに努めなければなりません。

また、明るいニュースとして、福岡県出身の大隅良典教授がノーベル生理学・医学賞を受賞されたことは、同じ県民として嬉しく、また誇らしく感じました。

国政においては、人権に関する様々な法律が施行されました。4月には、いわゆる「障害者差別解消法」、6月には「ヘイトスピーチ対策法」、そして12月には「部落差別解消推進法」がそれぞれ施行され、人権尊重の機運の高まりを実感した年でもありました。

最後に、古賀市を振り返ってみますと、8月に開催されたリオオリンピックにおいて、古賀市出身の福岡堅樹選手を含む7人制ラグビー日本代表が優勝候補のニュージーランドを撃破し、4位入賞を果たすという快挙を成し遂げたことや、10月に船原古墳とこれに伴う遺跡群が国史跡として指定されたことなどは、古賀市にとって明るいニュースでした。

また、まちづくりの面では、高田地区土地区画整理事業の進展をはじめ、国道3号や筑紫野古賀線の沿線における新たな企業進出など、有効な土地利用が

着実に図られてきた一年でもありました。

市制施行20周年目を迎える平成29年度は、「第4次古賀市総合振興計画後期基本計画」の初年度でもあります。長年の懸案でありました病児保育の実施や、住民票等諸証明のコンビニ交付が開始されるなど、これまでの子育て支援や教育施策の充実に加え、市民サービスの向上を図るとともに、交通利便性を生かした有効な土地利用を推進し、総合振興計画における都市イメージ「つながり にぎわう 快適安心都市こが」の実現に向け、施策や事業に着実に取り組んでまいります。

続きまして、平成29年度において特に力を入れて取り組んでいく施策について述べさせていただきます。

第1に、良好な市街地形成と住環境の保全を図るため、景観や空き家等に関する施策を推進するとともに、生活道路に流入する通過交通を抑制するため、道路新設などに取り組めます。加えて、地域活性化と雇用の確保を図るため、土地利用施策について検討を進めるとともに、さらなる企業誘致をめざしてまいります。

第2に、子育て世帯の支援と「教育立市こが」のさらなる推進のため、保護者のニーズに沿った保育施策の充実を図るとともに、新たな子どもの居場所づくりなどに取り組んでまいります。

第3に、地域医療の推進と健康づくり環境の充実を図り、医療と介護を連携させて地域全体で高齢社会を支えるため、地域包括ケアシステムの構築を推進するとともに、啓発や費用負担軽減による健診受診率の向上をめざしてまいります。

第4に、市の魅力や強みを生かし、企業誘致や定住化、観光振興等の目的に沿ったシティセールスを展開するとともに、多様な情報発信ツールの活用を図ってまいります。

以上のことを踏まえ、平成29年度の施政方針を策定いたしました。

2. 平成29年度予算編成について

《社会経済の情勢と本市を取り巻く環境》

わが国の景気は一部に改善の遅れが見られるものの、雇用や所得環境の各種施策の効果もあって緩やかな回復基調が続いています。

政府は、引き続き600兆円経済の実現と平成32年度の財政健全化目標の達成をめざしながら、「ニッポン一億総活躍プラン」に基づき、子育て・介護の分野にメリハリの効いた予算措置を行うとしています。また、「経済・財政再生計画」の2年目に当たり、地方の公的サービスの産業化やインセンティブ改革などによる歳出抑制を目標に掲げ、前年度比7,329億円増の97兆4,547億円の予算規模としています。

このような中で、本市は国の経済情勢や施策の変化に対応しながら行政運営を行ってきましたが、今後も増加見込である社会保障費やインフラを含む公共施設の老朽化を踏まえると、行政サービスの質の低下を招くことなく、財政の硬直化を回避していく必要があります。

将来にわたる市民福祉の向上と、快適安心都市こがの実現に向け、より一層、財政運営の健全化に努めてまいります。

《平成29年度予算案の概要と今後の財政見通し》

平成29年度予算案の編成にあたりましては、前期基本計画5年間の取組を踏まえ、直面する行政課題に対し重点配分を行い、平成29年度一般会計の予算規模は、前年度比0.2%増の196億7,300万円としました。

歳入においては、市税で前年度比1.2%増の67億6,600万

円を見込み、地方交付税は前年度比4.9%減の29億7,800万円を計上しています。そして、ふるさと応援寄附金は、大幅増の3億円を見込み、市債は、生涯学習センター整備や防災行政無線デジタル化工事の減により前年度比39.0%減の12億4,700万円を予定しています。また、財源不足を補うための財政調整基金の取り崩し額は、前年度の約3倍となる8億5,400万円を計上し、庁舎等建設資金積立金や義務教育施設整備基金などの有効活用も行っています。

歳出の性質別概要として、社会保障費の対象者の増加に伴い、扶助費は前年度比6.9%増の55億9,200万円を計上し、公債費は、1.8%増の13億6,500万円を見込んでいます。また、投資的経費につきましては、大規模事業の完了に伴い、41.7%減の15億1,800万円となっています。

次に、特別会計について、住宅新築資金等貸付事業特別会計は、前年度比86.9%増の838万円となっています。

国民健康保険特別会計は、前年度比1.6%増の71億7,200万円となっており、税率等の改正を行ったものの、保険加入者の高齢化や医療技術の高度化に伴う医療費の増加などにより、厳しい財政運営が続くと見込んでいます。

後期高齢者医療特別会計は、前年度比8.6%増の7億1,600万円となっています。

介護保険特別会計の保険事業勘定は、前年度比0.3%増の34億1,500万円となっています。また、介護サービス事業勘定は、前年度比7.2%減の3,000万円となっており、総合事業による効

果的な介護予防サービスの向上を図りながら、高齢者の自立した生活支援に努めます。

公共下水道事業特別会計は、前年度比1.5%増の20億3,700万円となっており、下水道施設のストックマネジメント計画の策定を行い、引き続き平成30年度からの地方公営企業法適用に向け取り組みます。

農業集落排水事業特別会計は、前年度比28.2%減の5億3,800万円となっており、平成29年4月から米多比地区の供用を開始するとともに、薦野地区において管渠整備の進捗を図ります。

水道事業会計は、前年度比2.9%減の14億9,500万円となっており、老朽管や揚水機場ポンプの更新を行います。

一般会計と8つの特別会計をあわせた予算総額は、350億8,800万円で、平成28年度とほぼ同規模の予算となっています。

また、今後5年間の財政見通しについて、歳入では、その根幹となる市税は横ばいで推移するものの、前年度比1億7,300万円の減となった臨時財政対策債を含む地方交付税は今後も減少すると見込んでいます。歳出では、扶助費や公債費などの義務的経費や、公共施設の維持管理費などの増加が見込まれ、基金からの繰入による財政調整が避けられないことから、行政サービスの水準を維持するために、さらなる自主財源の確保とコスト削減に努めてまいります。

3. 平成29年度に行う主な事業について

平成29年度に行う主な事業について、「基本目標」別に説明いたします。

なお、新規に行う事業を含む記述については、【新規】、重点プロジェクト推進施策に該当する記述については、【重点】と記載しております。

(1) 活気とにぎわいあふれるまちづくり

企業の立地環境整備による企業誘致とそれに伴う雇用の拡大をめざした取組を引き続き推進してまいります。また、農林業や商工業の活性化を図るとともに、市内農産品や製造品、観光資源の積極的なPRを推進し、地域経済の活性化とにぎわいを創出します。

- ① 収集した企業情報を活用し、効果的な誘致活動や土地利用施策を推進します。【重点】
- ② 観光の活性化を図るため、観光拠点の設置や充実に向けた検討を行います。【新規】【重点】
- ③ 次代を担う農業後継者を育成するとともに、魅力ある農業経営を実現するため、青年農業者による組織的活動を支援します。【新規】【重点】
- ④ 事業規模の拡大や収益性の向上による農業の経営力強化を図るため、国・県と連携した必要な支援を行います。【重点】
- ⑤ 森林の適正管理の推進と間伐材の利用促進を図るため、林業経営に対する支援を充実します。

- ⑥ 農商工特産品の知名度向上と販路拡大をめざし、ふるさと応援寄附制度などを活用したPRを推進します。
- ⑦ 「まつり古賀」や「食の祭典」の開催を継続して支援することにより、商工業の活性化を図ります。

(2) 自然を大切にし 環境にやさしいまちづくり

豊かな自然環境を次世代に継承するため、市民・地域・企業・行政などが共働した環境保全活動とその意識向上に取り組みます。また、持続可能な「循環型社会の形成」をめざし、ごみの減量と資源化対策、地球温暖化防止対策を推進します。

- ① 地球温暖化防止の推進のため、公共施設におけるエネルギーの効率的利用をさらに推進します。**【重点】**
- ② 古賀市の特性にあった再生可能エネルギーの調査研究の成果をふまえ、さらに検討を進めます。**【重点】**
- ③ 環境施策の充実を図るため、古賀市環境市民会議「ぐりんぐりん古賀」との共働事業体制の見直しにより連携・協力を強化します。
- ④ ごみの減量と再資源化の取組を引き続き推進するため、食品ロス対策に取り組めます。
- ⑤ 住環境の保全と動物愛護を推進するため、地域の実情に応じた地域猫活動を支援します。**【新規】**

(3) ころ豊かに学び続ける人が育つまちづくり

学校教育の充実や社会教育の振興などに取り組み、子どもから大人までころ豊かに学び続ける人が育つまちづくりを推進します。

引き続き児童生徒へのきめ細かな学習支援・教育環境支援を行うとともに、生涯学習センターのグランドオープンなどによる生涯学習環境のさらなる充実を図ります。

- ① 児童生徒にきめ細かな学習支援を行うため、市内小中学校において、少人数学級を継続して実施します。【重点】
- ② 全ての生徒の進学と自己実現を図るため、生活困窮世帯に対する高等学校等への進学負担軽減支援を拡充します。
- ③ 児童生徒の安心・快適な学習環境を適切に維持するため、施設長寿命化計画の策定に取り組みます。【新規】
- ④ 教育環境の充実と情報教育の推進に向け、校務システムとあわせて教育用コンピューターの更新を行います。
- ⑤ 本に親しむ読書のまちづくりを推進するため、第3次古賀市子ども読書活動推進計画を策定します。
- ⑥ 地域における青少年の健全育成を推進するため、全ての小学校区における放課後子供教室の実施と内容の充実を図ります。
- ⑦ 地域に密着した青少年を育む環境づくりのさらなる充実に向け、ししぶ児童センターを開設します。【重点】
- ⑧ 児童生徒の多角的な学習環境の充実に向け、小中学校における放課後学習支援や隣保館におけるスタンドアローン支援事業を継続するとともに、児童センターにおける学習支援の拡充や生涯学習センターでの学習スベ

ースの提供を行います。【重点】

⑨ 歴史遺産に親しむ環境をつくるため、国史跡指定を受けた船原古墳の広場整備を行います。【重点】

⑩ 歴史資料の収集と整理を進め、将来的な市史^{へんきん}編纂の準備に着手します。
【重点】

⑪ 自立した生涯スポーツ社会の実現をめざし、第2次古賀市スポーツ振興基本計画の策定に着手します。【新規】

(4) 住みやすい生活環境の整ったまちづくり

良好な市街地・住環境の形成や交通環境の充実、上下水道の整備などに取り組み、快適で住みやすい生活環境の整ったまちづくりを推進します。

特に、生活道路への通過交通の流入を抑制するための道路整備を行うなど、快適な住環境の保全に向けた取組を進めます。

① 通過交通の抑制や、防災・交通アクセス機能など生活環境向上のため、歩行者へ配慮した西鉄宮地岳線跡地整備の実施設計を行います。【新規】

② 古賀市にふさわしい景観計画の策定に向けた取組を継続するとともに、違反広告物への対策強化を図ります。【重点】

③ 市民に親しまれる快適・安全な交通拠点を形成するため、JR古賀駅自由通路の美化を図るとともに、JR古賀駅ホーム内のバリアフリー化に向けた支援を行います。【新規】【重点】

④ 快適な住環境を保全するため、空家等対策計画に基づいた特定空家等への適切な対応を行うとともに、「空き家・空き地バンク」の活用に向け必

要な支援を行います。【重点】

⑤ 児童生徒の安全な通学を確保するため、市道薬王寺51号線新設により通過交通の誘導を行います。

⑥ 安全・安心な道路機能を維持するため、路面下空洞調査を開始します。

【新規】

⑦ 路線バスの利用促進に併せて、高齢者の外出促進を図るため、「70歳おでかけバス」の実証実験を継続するとともに、JR古賀駅におけるバス案内表示の充実等に取り組みます。【新規】

⑧ 下水道事業における資源の有効活用と新たな収入の確保に向け、水再生センターにおける消化ガス発電の導入を行います。【新規】

⑨ 上下水道事業の将来にわたる経営の安定化に向け、古賀市上下水道事業経営等審議会を開催します。【新規】

(5) 安全で安心して暮らせるまちづくり

災害対策や防犯機能の強化を図り、すべての人が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進します。

地域防災のさらなる推進に向け、災害対策室を整備するとともに、地域における防災士の資格取得を支援します。

① 災害時における適切な避難誘導のため、指定避難所である各小学校の入口に災害種別に応じたサイン表示を行います。【新規】【重点】

② 地域防災力の向上と防災知識の習得を図るため、自主防災組織などの防災士資格取得を支援します。【新規】【重点】

- ③ 防災機能の向上を図るため、平成28年度からの繰越事業として、防災情報システムを備えた災害対策室などの整備を行います。【重点】
- ④ 消防団活動のPRと消防団員確保に向けた啓発を強化するため、軽可搬ポンプを購入し、消防団女性部の福岡県女性消防操法大会出場をめざします。【新規】【重点】
- ⑤ 安全安心のまちづくりを推進するため、警察と連携し、JR千鳥駅周辺に防犯カメラを設置します。

(6) すこやかで元気あふれるまちづくり

子育て支援においては、病児保育の新設や保育施設の改築など保育環境を充実させるとともに、児童虐待防止の強化を図ることにより、子育て環境のさらなる充実に取り組みます。また、乳幼児から高齢者までの切れ目のない健康づくりと地域医療の充実を図ることにより、すべての人がすこやかで元気あふれるまちづくりを推進します。

- ① すべてのライフステージにおける健康づくりをさらに推進し、健康寿命の延伸を図るため、第2次古賀市健康増進計画及び古賀市食育推進計画を策定します。【重点】
- ② 健康づくりを推進するため、地域ウォーキングを充実し、きめ細かな支援を行います。【重点】
- ③ 疾病予防と重症化予防、疾病の早期治療の強化に向け、ワンコイン健診を導入し、特定健診やがん検診の受診率向上をめざします。

- ④ 地域医療の充実と医療・介護連携の強化に向け、とびうめネットワークを基盤とした医療・介護ネットワークシステムの構築をめざします。

【重点】

- ⑤ 骨髄等移植及びドナー登録の推進に向け、ドナー提供者の休業補償による経済的負担の軽減を行います。**【新規】**

- ⑥ 市民ニーズに沿った保育環境を充実させるため、病児保育の新設とともに、私立保育園における保育士の雇用確保のための支援を行います。

【新規】【重点】

- ⑦ 保育環境の向上と待機児童ゼロ堅持のため、ほづみ保育園の改築整備を支援するとともに、認定こども園や小規模保育所の開設に向けた支援を行います。**【新規】【重点】**

- ⑧ 要保護児童等への適切な保護や支援を充実させるため、児童福祉司等のスーパーバイザーを配置するとともに、相談システムを導入します。

【新規】

- ⑨ 子どもの貧困対策を推進するため、実態調査を行います。**【新規】**

- ⑩ 地域支え合いネットワークの構築に向け、高齢者の生活支援コーディネート業務を社会福祉協議会と連携して行います。

- ⑪ 介護保険の適正運営を図るとともに、高齢者を地域社会全体で支える体制を構築するため、第7期古賀市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を策定します。

- ⑫ 高齢者の雇用と社会参画を推進するため、シルバー人材センターへの支援を拡充します。**【重点】**

- ⑬ 地域福祉活動の推進に向け、民生委員制度創設100周年記念行事を行います。**【新規】**

(7) 互いに認めあいみんなで作るまちづくり

人や地域がつながり、支えあい、互いに認めあう、人権のまちづくりを推進するとともに、市民一人ひとりが活躍できる、男女共同参画社会の確立と共働のまちづくりを推進します。

- ① 市民一人ひとりの人権が尊重され、市民が共に生き、共に支え合うまちづくりをめざし、「いのち輝くまち☆こが」「古賀市同和問題を考える市民のつどい」の継続と充実を図ります。【重点】
- ② 女性の活躍推進を図るため、起業やキャリアアップに向けた講座やフォローアップのための交流会等を行います。
- ③ 市民がまちづくりの担い手であるという意識の啓発を行うとともに、自治会や校区コミュニティの自主性を尊重しながら支援を行います。【重点】
- ④ シティセールスの推進と、市民の利便性の向上を図るため、市公式ホームページのリニューアルとともに、SNSを活用した情報発信を行います。
- ⑤ 市民の利便性向上に向け、住民票等諸証明のコンビニエンスストアでの発行を開始します。【新規】
- ⑥ 老朽化した岡部記念福祉会館を解体撤去し、駐車場として整備します。
- ⑦ 市役所のセキュリティ対策強化のため、第1庁舎2階通路にシャッターを設置します。【新規】

4. おわりに

ここまで、平成29年度施政方針について述べてまいりました。

平成29年度は例年になく極めて財源が厳しい中の予算編成となりました。社会保障関係経費の増大に対応するため、財政調整基金の取崩は昨年から大幅増となり、地方交付税の実質的な削減も今後さらに拡大することが懸念されることから、古賀市としては税込増をはじめ、あらゆる財源確保と効率的な財政運営に努める必要があります。

この厳しい状況の中にあっても、本市はこれまで培ってきた地域資源を活かして新たな取組を進めることにより、地域活性化によるにぎわいづくりを推進するとともに、自然と調和した市民が安心できる生活環境を守りつつ、将来を見据えた持続可能な自治体運営を行ってまいりたいと考えております。

引き続き、議会並びに市民の皆さまのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。